

天高キャラクター あまたか四郎



誕生!



2年2組
宮崎 真実

「あまたか四郎」は、「天高のキャラクターをつくらう」という美術の授業で考案しました。

天草といえど何だろうと思ひ、始めは天草名物のイルカやタコ、ポンカンなどのキャラクター作成に挑戦しましたが、どれもしっくりとくるものはありませんでした。そこで、全国的にも有名な「天草四郎」をモチーフに作ってみました。自分自身も納得のいくキャラクターができました。

私は、普段から絵を描くこと、創作することが好きです。この「あまたか四郎」を作成する際も、楽しんで創ることができました。また、悪戦苦闘しながらも最終的に粘土で立体化することもできました。私自身、たくさんの思いを込めて創ったキャラクターでしたので、学校のキャラクターに選んで下さったときは、とても嬉しかったです。これから「あまたか四郎」が、少しでも天高のPRに貢献することができたら幸いです。

すばらしい

「学校案内パンフレット」ができました。



3年1組
渡邊 優佳

平成23年度、中学生に向けての学校案内パンフレットの題字を3年1組 渡邊優佳さんに書いてもらいました。とても勢いのある字ですね。



1年1組担任
村上 暁彦

1年1組は、6月8日に新入生学級研修としてセミナーオ研修を行いました。入学から二ヶ月のこの時期に研修を行うことができ、大変有意義であったと感じます。レクリエーションではバスケットボールとドッジボールを行い、交流を深めました。3時間の学習や、食事を1組38人が同じ空間で行い、新たな結束と団結力が生まれたと感じています。この研修を今後の高校生活に生かしてよりよい学校生活にしていくことを期待します。



1年2組担任
池田 佳史

新入生セミナーオ合宿を通して、天高生としての自覚とクラスの絆を深めることができました。特に、長縄跳びの練習では多くの回数を跳ぶために陣形を工夫し指示する生徒、経験を生かしてアドバイスをする生徒、リズム取りのために声をかける生徒、息をそろえようと周りを見て跳ぶ生徒など、個性と持味が発揮されて感動の連続でした。勇往邁進のスローガンのもと、1年2組の生徒全員が長縄跳びのときのように飛躍することを期待します。



1年3組担任
横手 三美

1年3組は、4月26・27日にセミナーオ研修を行いました。今はもう気軽に会話を交わしているクラスメイトも、二ヶ月前にはまだ互いによく知らず、研修では呼び名を確認したり部活動や出身中学校を教え合ったりしている光景が微笑ましく見られました。皆で大鍋のカレーと一緒に食べ、長縄跳びの練習をし、皆で一心に勉強するという経験は、互いが打ち解けるよききっかけとなったようでした。



1年4組担任
橋口 豊

4月22日、1年4組のセミナーオ研修を行いました。入学して二ヶ月も経つておらず、生徒たちもまだクラスに慣れない中での研修でしたが、生徒同士、特に男女間では、お互いを少しずつ受け入れている様子でした。レクリエーション

一年生セミナーオ研修の目的と意義

- 天高生としての自覚をもつ。
- 学級の一員としての自覚を持つ。
- 学級内の親睦を図る。

部活動研修や学級研修でのセミナーオ利用もあります。 入退舎式が行われます。

一年生セミナーオ研修 報告

4～5月に各クラス一泊二日でセミナーオ研修が行われました。

は勿論のこと、食事や入浴といった細かなことから楽しむことができました。現在のクラスの状態も課題はありますが、学校生活を楽しくしているようです。これも今回の研修が大きかったと考えています。



1年5組担任
齋藤 里奈

1年5組は中間考査のちょうど1週間前にセミナーオ研修を行いました。

食事後は、クイズ大会、グループごとに単語や熟語の問題に取り組み、副担任の山川 潔先生の似顔絵を描いたりしました。休憩の後は、黙学。翌朝は教室で3人の生徒が作ったミニテストと、学習ばかりの計画でしたが、楽しむ時には皆で盛り上がり、学習時にはしっかりと集中することができました。その他、あいさつや校歌斉唱もとても元気がよく、元気な5組のスタートが切れたと思います。



1年6組担任
門川 竜也

一泊二日のセミナーオ研修は、生徒にとって『天高生としてどうあるべきか』を改めて考える貴重な機会となりました。平野校長先生の講話にあった「8つのしん」について、一人ひとりが今の自分に向き合い様々な「しん(真新・慎・伸・芯・進・など)」を思い浮かべ、それぞれの思いを共有することができました。クラス全員で行動を共にすることで、互いの理解を深めただけでなく、時間の厳守や係としての責務を果たし天高生としての自覚が芽生えたようでした。



1年7組担任
松崎あかね

あつという間の一泊二日。校歌斉唱で教頭先生から褒められたとき、黙々と勉強し、男女混合バスケット大会で一気に上り詰げて更に真夜中まで勉強。お互いの個性が見えてきた時期だからこそ、賑やかな研修でした。

食器洗いやバスケット大会の運営など自主的な動きができた一方、時間のけじめが足りない場面も。クラスの在り方を考える契機になりました。



育友会副会長
山浦 孝弘

6月18日(金)佐賀市文化会館において、「響け心に親の思い 子の願い」をテーマに、がばい響け佐賀大会が開催されました。

私は、進路指導とPTA活動という分科会に参加し、進学校での進路支援のとり組みで、親も子も学ぶ進路学習に共感を覚えました。

現在は、厳しい経済状況の中であり、高校生の進学や就職にも大きな影響が出ています。これから、ますます子ども・保護者・学校がしっかりと連携しサポートしていく必要があることを感じました。

全体会では、教育評論家の尾木直樹氏による「子どもの危機をどう見るか」家庭と学校と地域のつながりについての記念講演があり、大学生の現状という話の中で自立していない学生が増えているとのことでした。私も、社会人・保護者として責任を感じました。

最後に、家庭と学校が今まで以上に密に連携を取り合うことが、子ども達の健全育成ならびに進路実現に向け最も大切な事だということを再確認した佐賀大会でした。

してきたことを生徒たちに可能な限り伝えていければと思う1年です。



教科 保健体育
上原 真生

4月から母校である天草高校で勤務させていただいております。とても嬉しく思うと同時に、一人でも多くの、一つでも多くの笑顔が見られるよう、生徒と共に頑張っていこうと思っております。よろしくお願いたします。



教科 国語
福島 和

4月からお世話になっております。天草の大自然の中で育った生徒たちは素直で、あいさつも気持ちよく、毎日元気を貰っています。何か一つでも生徒に与えられるよう微力ながらも全力で頑張りたいと思っております。よろしくお願いたします。



学校技師
早井 美鈴

倉岳校から参りました。皆さんが、充実した学校生活を送ることができるように、環境整備等、力を入れていきたいと思っております。よろしくお願いたします。



事務室
浦本 恵里

天高に来て3か月が経ちました。事務室にいますので生徒の皆さんと関わる機会は少ないですが、よろしくお願いたします。皆さんのあいさつは元気があり素晴らしいですね。